

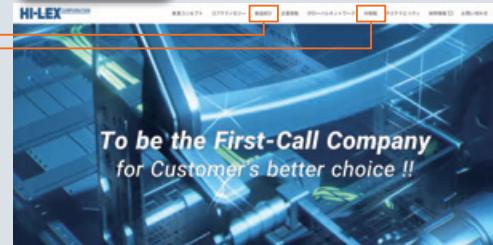
■ 株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月中
基準日	
定時株主総会 期末配当金	10月31日
中間配当金	4月30日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL：https://www.hi-lex.co.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日除く)
・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
(各種手続のご案内)	URL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして、各種情報を公開しておりますのでご覧ください。

トップページ



製品紹介



IR情報



<https://www.hi-lex.co.jp/>

HI-LEX 株式会社ハイレックスコーポレーション

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町一丁目12番28号
TEL 0797-85-2500 (代)
URL <https://www.hi-lex.co.jp/>



HI-LEX

株主通信 | 第81期報告書
2023年11月1日から2024年10月31日まで

株式会社ハイレックスコーポレーション

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第81期事業年度（2023年11月1日から2024年10月31日まで）が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年1月

代表取締役社長
寺浦 太郎



Q 当期の業績について

A 中国での新規車種の生産増加により、販売が伸長しました

当連結会計年度における世界経済は、米国では消費の落ち込みと景気の下振れリスクが懸念される中で経済は底堅く推移しております。欧州では堅調な雇用や物価上昇の鈍化にともない消費の回復が期待されております。一方、中国では不動産不況や消費の鈍化による景気の不透明感が増大し、アジア経済への影響も懸念されております。さらにウクライナ紛争とパレスチナでの軍事衝突の長期化により、各地域では依然として不透明な状況が続いており、世界経済の不確実性は増加しております。また、日本国内においては自動車生産の停滞による景気の踊り場を経て緩やかな回復へと推移しております。

自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は前年同期比2.9%減の836万台、米国では同1.4%増の1,084万台、中国では同7.4%増の3,052万台となりました。

当連結会計年度の経営成績は、主に北米・欧州において主要顧客の減産による影響、アジアでは主にインドネシア、ベトナムでの自動車市場低迷の影響により、販売が伸び悩む一方

で、中国においては新規車種の生産開始が増加したこと等の影響により販売が前年比で伸長し、全体では円安による邦貨換算額の増加影響もあり、売上高は3,083億8千2百万円（前年同期比97億5千8百万円増、3.3%増）となりました。

営業利益は、原価低減、生産性向上並びに経費削減等の合理化による収益の確保や、各グループ会社での販売価格改定を始めとした利益改善の取り組みを進めたことで、中国、欧州、日本の各地域では増加したものの、北米地域での売上の伸び悩みと労務費の増加、アジア地域における主にインドネシア、ベトナムでの売上減少による影響もあり、3億6千5百万円（前年同期比26億1千5百万円減、87.8%減）となりました。

経常利益は、主に受取配当金、受取利息及び助成金収入等を収益に計上したものの、支払利息及び為替差損等を費用に計上したことにより、27億2千7百万円（前年同期比26億円減、48.8%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、主に政策保有株式の売却による投資有価証券売却益、建物売却等による固定資産売却益を特別利益に計上する一方で、特別損失で減損損失、貸倒引当金繰入額等を計上した影響等により、19億7千3百万円（前年同期は29億9千1百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

事業紹介



自動車分野

コントロールケーブル、ウインドレギュレータ、ドアモジュールといった当社の主力製品は、高い耐久性や信頼性、コンパクトな構造など優れた特長があり、自動車の機能部品として採用されております。



船舶・ボート分野

当社の船舶用コントロール・ボックスは耐久性、耐蝕性にも優れ、レジャーボートや漁船分野では60%のシェアを確保しております。また、ジェットボートや高速艇などの分野にも進出しております。



建設機器・産業機器分野

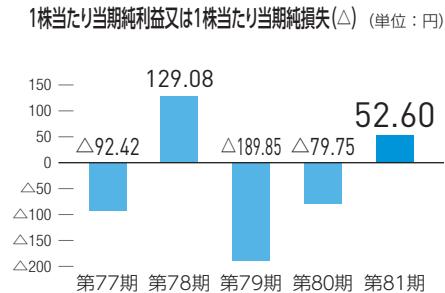
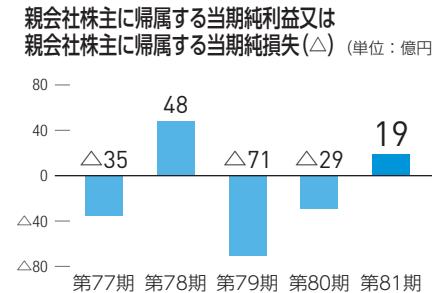
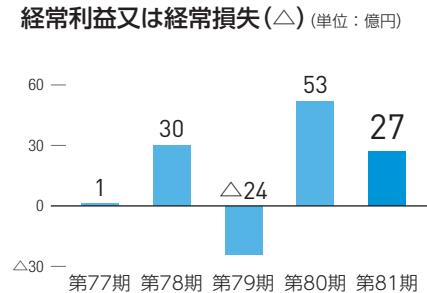
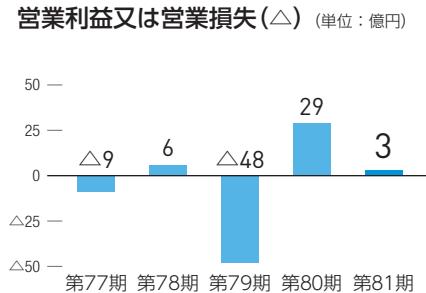
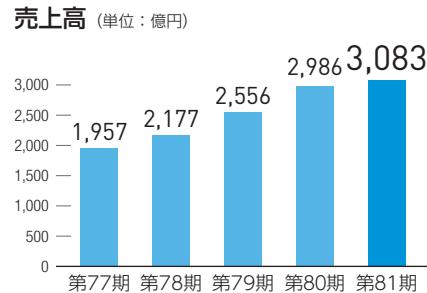
当社では、アクセルアクチュエータを利用し、作業モードと低燃費モードを調整することで、エネルギーロスを抑えたコントロールケーブルシステムを建設機械用に提供しております。



福祉・住宅関連分野

ユーザー様、お客様の幸せな暮らしを少しでもサポートするために、当社独自の技術を駆使し、福祉・住宅関連の商品を提供しております。

連結財務ハイライト



第82期 連結業績予想

売上高 2,988億円
 営業利益 24億円
 経常利益 45億円
 親会社株主に帰属する当期純利益 20億円
 1株当たり当期純利益 53円31銭

Q 各セグメント別業績について

A 日本・中国・欧州で増益、北米・アジアで減益となりました

各地域別での世界経済は、日本では、原価低減と生産性向上に取り組んだ影響により、中国、欧州では、売上増加に伴う操業度の増加影響及び原価低減等の影響により、増益となりました。北米では、操業度の低下による影響や、増加した労務費及び経費の回収不足により、アジアでは、販売減速の影響により、減益となりました。南米では、生産拡大に伴う操業度上昇による改善効果があり、損失額が減少しました。

Q 当期の配当について

A 期末配当金は1株当たり20円00銭とさせていただきます

当社は、利益配分につきましては、株主の皆様にとっての収益性と今後の収益予想や将来の事業展開等を考慮し、長期的な安定配当を維持していくことを基本方針としております。当期の配当については、経営体質の強化と今後の事業展開を勘案し、内部留保及び連結での配当性向にも意を用いた結果、1株当たり20円00銭とし、中間配当金と合わせて通期では40円00銭とさせていただきます（前期比6円の増配）。

トピックス

高性能シートロック解除アクチュエータ量産化成功

自動車のシートアレンジの電動化に向き合ってきた結果、従来の当社製品比15%の出力アップ、40%の省電力化した、他社を凌駕するトップクラスの高性能シートロック解除アクチュエータの量産化に成功いたしました。今後もお客様から最初に声を掛けていただける会社「First-Call Company」として躍進いたします。



非中心循環系人工血管「ハイレックスグラフト」リニューアル

人工透析患者様に使用される人工血管を、求められる基本性能はそのままに、従来品よりも柔軟な設計にリニューアルいたしました（製品名「ハイレックスグラフトplus」、承認番号20200BZZ00079000）。手術時の医師の操作性が向上することで、患者様にとっても手術がより安全なものになることを目的に改良を加えました。これからもより安心・安全な医療機器を早く患者様のもとにお届けできるよう、医療の発展に貢献してまいります。



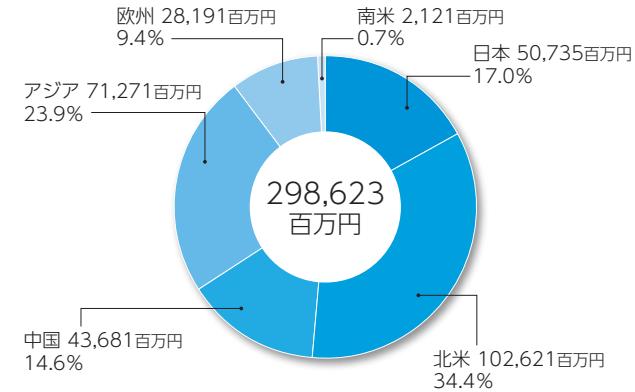
車いす固定装置（ワンタッチ式/電動）開発

トヨタ・ハイエース福祉車両向けに車いす固定装置（ワンタッチ式/電動）を開発いたしました。従来の装置では、介助者がひざまずいてフックを掛けて車椅子を固定するため操作負担が大きかったのに対し、開発品では車椅子を所定の位置へ移動させ、ワンタッチで電動固定が完了するため操作負担が軽減されます。今後の福祉業界の発展に大きく寄与できるものと考えております。

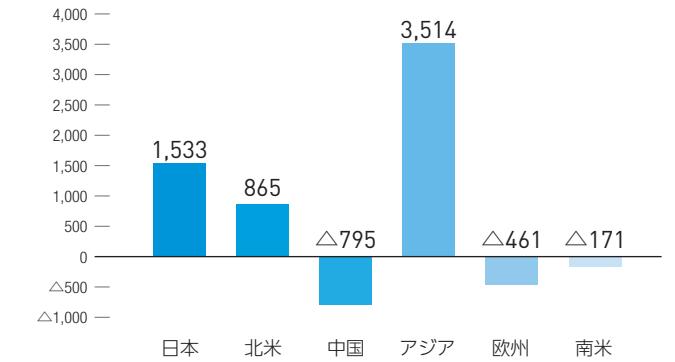


前連結会計年度 (2022年11月1日から2023年10月31日まで)

売上高



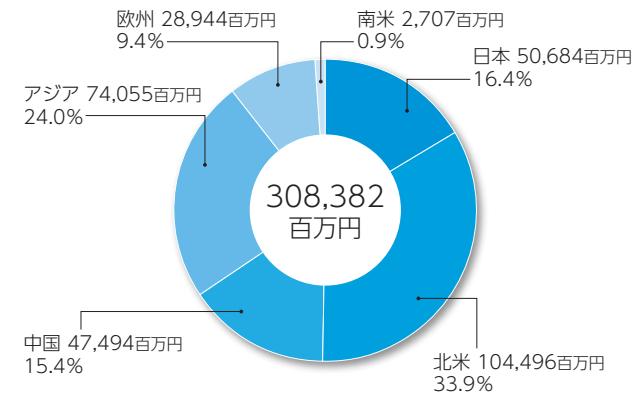
セグメント利益又は損失(△) (単位：百万円)



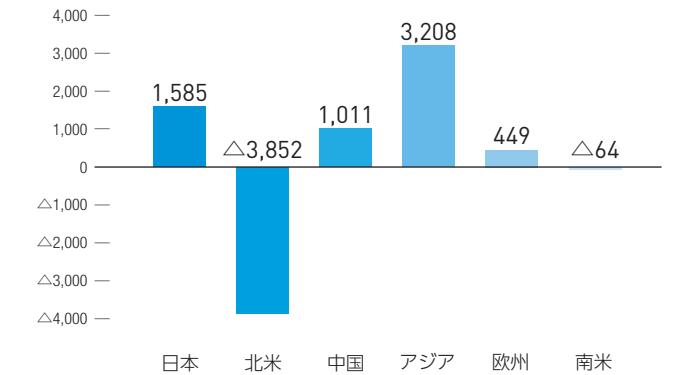
注) 各セグメント利益又は損失の合計額と連結損益計算書の営業利益との差額の主な内容は、全社費用及びセグメント間取引の調整であります。

当連結会計年度 (2023年11月1日から2024年10月31日まで)

売上高



セグメント利益又は損失(△) (単位：百万円)

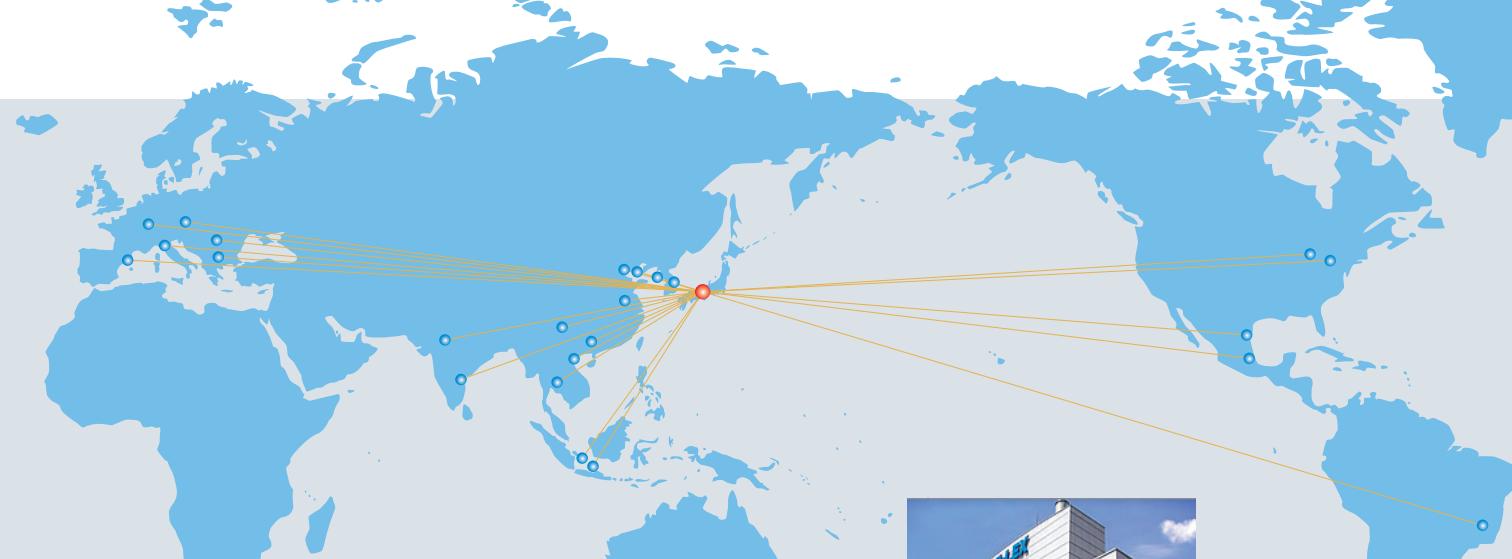


注) 各セグメント利益又は損失の合計額と連結損益計算書の営業利益との差額の主な内容は、全社費用及びセグメント間取引の調整であります。

“To be the First-Call Company for customer's better choice” お客様の困りごとの一番の相談相手となることを目指します。

お客様に困りごとがあればまず最初に声を掛けていただけるように——。
私たちは積極的な海外展開を図り、現地における生産体制の拡充を推進してきました。
アメリカ、メキシコ、ブラジル、ドイツ、イタリア、スペイン、ハンガリー、中国、韓国、インド、
インドネシア、ベトナム、タイ、チェコ、セルビアの世界15ヶ国に拠点を展開しております。
最高水準の技術を提供するグローバルネットワークを活用して
“To be the First-Call Company for customer's better choice” を実現します。

(2025年1月現在)



HI-LEX CONTROLS INC.
LITCHFIELD PLANT (U.S.A.)
HUDSON PLANT (U.S.A.)
WARREN PLANT (U.S.A.)



HI-LEX AMERICA INC. (U.S.A.)
HI-LEX AUTOMOTIVE CENTER
(U.S.A.)



DAEDONG HI-LEX OF
AMERICA INC. (U.S.A.)



HI-LEX MEXICANA,S.A.DE C.V.
(MEXICO)
DAEDONG DOOR MEXICO S.
DE R.L. DE C.V. (MEXICO)



HI-LEX DO BRASIL LTDA.
(BRAZIL)



重慶海徳世控制拉索系統有限公司
(CHINA)



長春海徳世汽車拉索有限公司
(CHINA)



広東海徳世拉索系統有限公司
(CHINA)
広州利時徳控制拉索有限公司
(CHINA)



本社 (JAPAN)

国内グループ11社

- 出石ケーブル(株)
- (株)ハイレックス埼玉
- (株)ハイレックス島根
- (株)ハイレックス関東
- (株)サンメディカル技術研究所
- 但馬ティエスケイ(株)
- (株)ハイレックス宮城
- (株)ハイレックスメディカル
- (株)EVIジャパン
- 丹波ケーブル(株)
- 京丹TSK(株)



HI-LEX HUNGARY CABLE
SYSTEM MANUFACTURING LLC
(HUNGARY)



HI-LEX EUROPE GMBH
(GERMANY)



HI-LEX ITALY S.P.A. (ITALY)



HI-LEX AUTO PARTS SPAIN,S.L.
(SPAIN)



HI-LEX CZECH, S.R.O.
(CZECHIA)



煙台利時徳拉索系統有限公司
(CHINA)
杭州海徳世拉索系統有限公司
(CHINA)
天津海徳世拉索系統有限公司
(CHINA)



江蘇大同海徳世車門系統有限公司
(CHINA)
江蘇大同多沃汽車配件有限公司
(CHINA)



海徳世汽車部件 (瀋陽) 有限公司
(CHINA)



HI-LEX SERBIA D.O.O. (SERBIA)



韓国TSK株式会社 (KOREA)



大同ハイレックス株式会社
(KOREA)
大同ドア株式会社 (KOREA)



株式会社大同システム (KOREA)



重慶海徳世拉索系統集團有限公司
(CHINA)



HI-LEX INDIA PRIVATE LTD.
(INDIA)
HI-LEX DOOR INDIA PRIVATE
LIMITED. (INDIA)



PT. HI-LEX INDONESIA
(INDONESIA)
PT. HI-LEX PARTS INDONESIA
(INDONESIA)
PT. HI-LEX CIREBON
(INDONESIA)



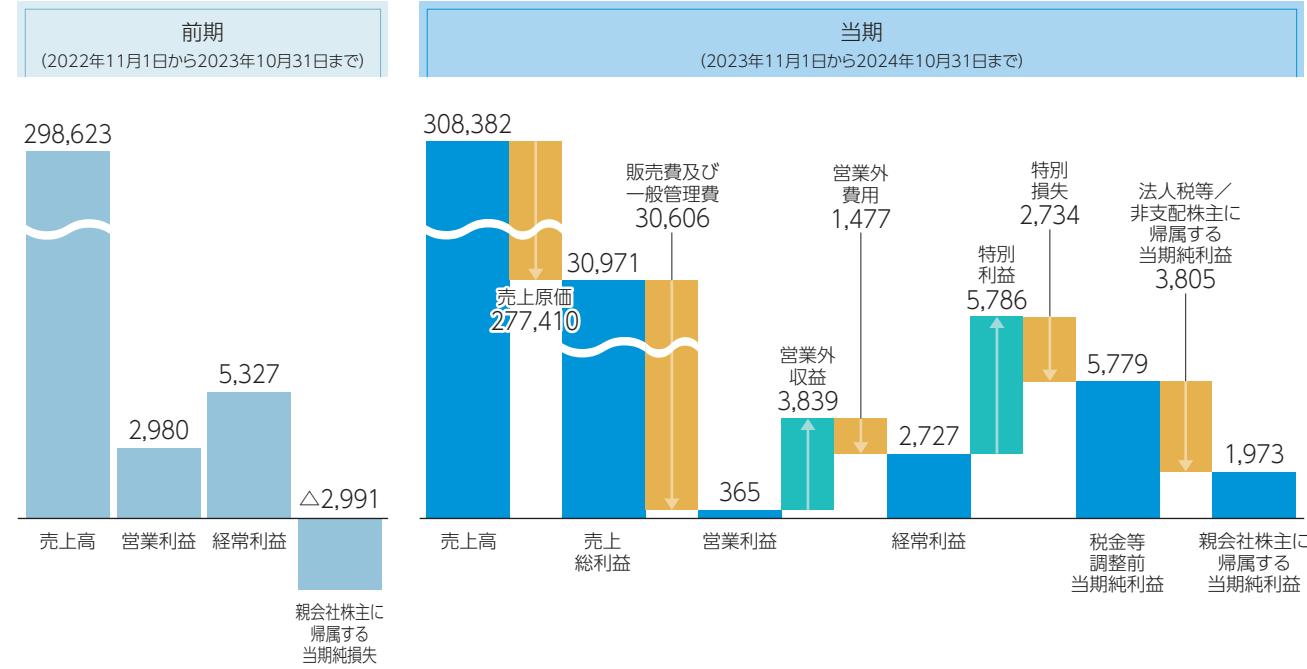
HI-LEX VIETNAM CO.,LTD.
(VIETNAM)



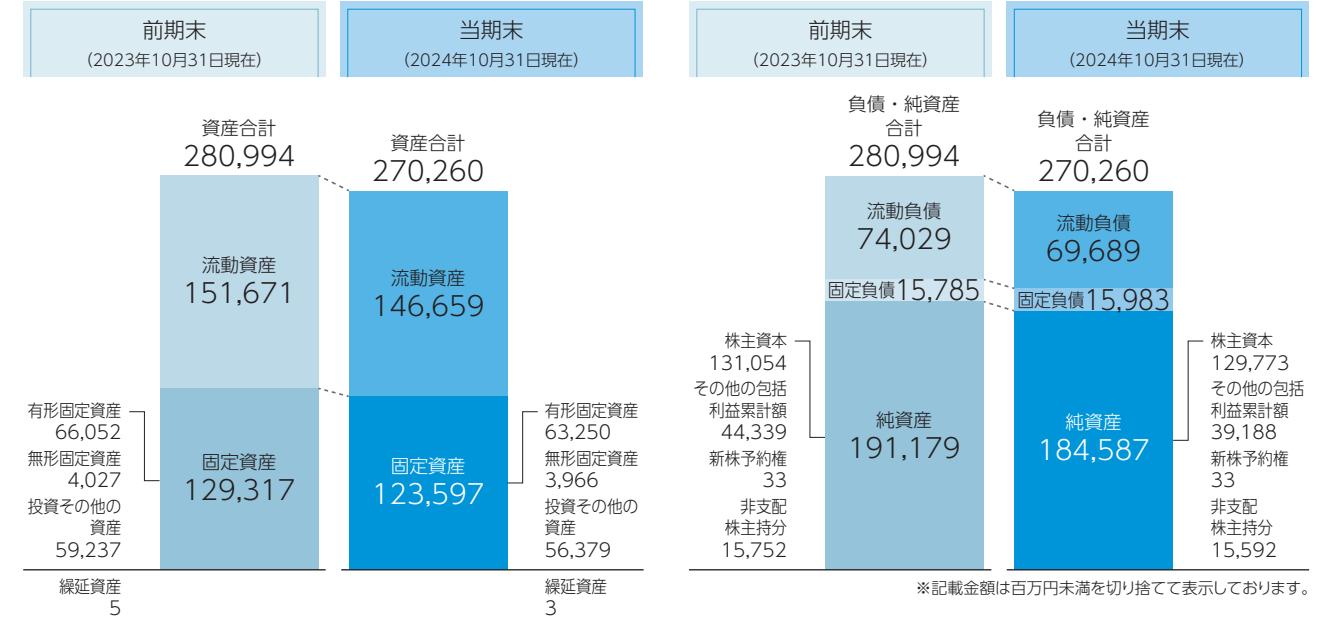
THAI STEEL CABLE PUBLIC
COMPANY LIMITED
(THAILAND)



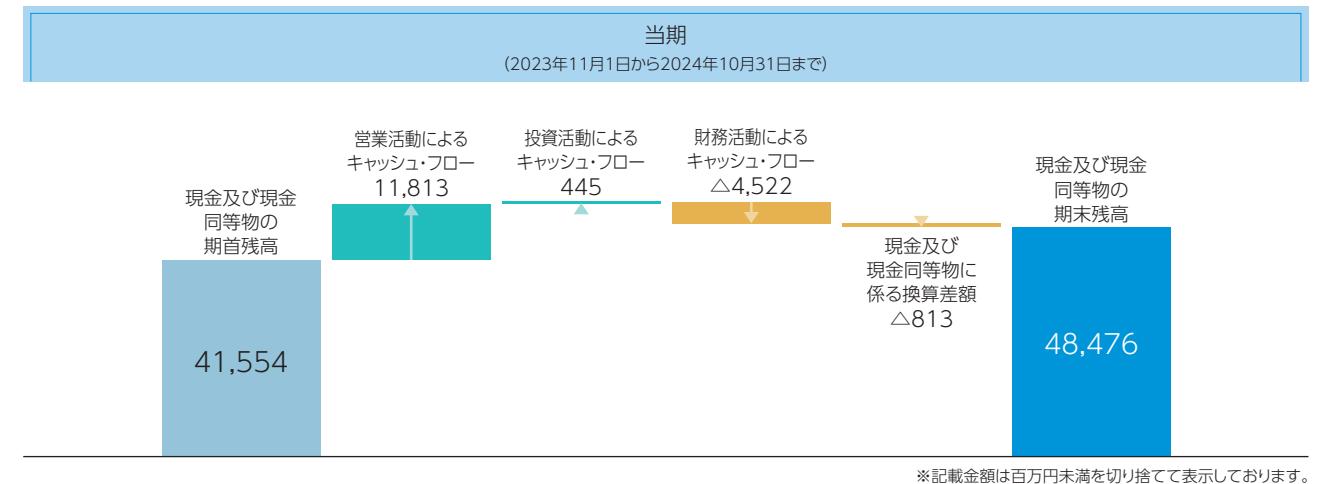
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



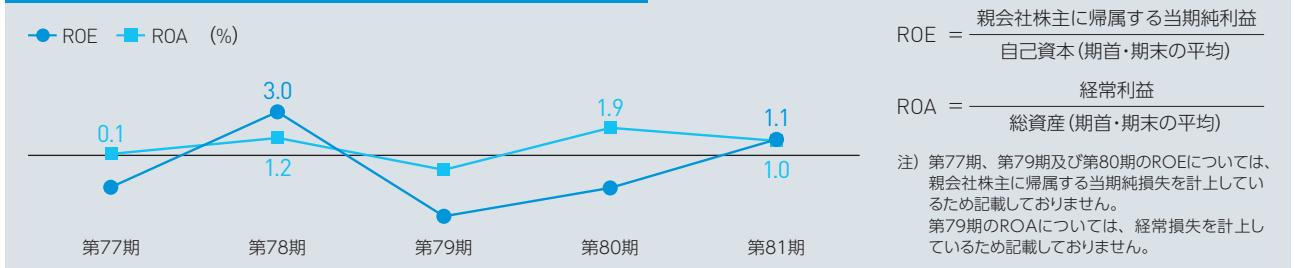
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



ROE (自己資本利益率)・ROA (総資産利益率) の推移



事業所

(2025年1月現在)

国内

医療機器事業部、三田工場、三田西工場、
柏原工場、三ヶ日工場（浜松営業所）、
宇都宮技術センター（宇都宮営業所）、
名古屋営業所、広島営業所

海外

アメリカ、メキシコ、ブラジル、
ドイツ、イタリア、スペイン、
ハンガリー、中国、韓国、インド、
インドネシア、ベトナム、タイ、チェコ、
セルビア

連結子会社等

(2025年1月現在)

出石ケーブル株式会社
株式会社ハイレックス島根
株式会社ハイレックス埼玉
株式会社ハイレックス関東
株式会社サンメディカル技術研究所
但馬ティエスケイ株式会社
株式会社ハイレックス宮城
株式会社ハイレックスメディカル
TSK of AMERICA INC.
HI-LEX AMERICA INC.
HI-LEX CONTROLS INC.
DAEDONG HI-LEX OF AMERICA INC.
HI-LEX MEXICANA,S.A.DE C.V.
DAEDONG DOOR MEXICO S. DE R.L. DE C.V.
HI-LEX DO BRASIL LTDA.
HI-LEX HUNGARY CABLE SYSTEM MANUFACTURING LLC
HI-LEX EUROPE GMBH
HI-LEX AUTO PARTS SPAIN,S.L.
HI-LEX ITALY S.P.A.
HI-LEX CZECH, S.R.O.
HI-LEX SERBIA D.O.O.

韓国TSK株式会社
大同ハイレックス株式会社
大同ドア株式会社
重慶海德世拉索系統集团有限公司
重慶海德世控制拉索系統有限公司
長春海德世汽車拉索有限公司
広東海德世拉索系統有限公司
広州利時德控制拉索有限公司
杭州海德世拉索系統有限公司
煙台利時德拉索系統有限公司
江蘇大同海德世車門系統有限公司
江蘇大同多沃汽車配件有限公司
海德世汽車部件(瀋陽)有限公司
天津海德世拉索系統有限公司
HI-LEX INDIA PRIVATE LTD.
HI-LEX DOOR INDIA PRIVATE LIMITED.
HI-LEX VIETNAM CO.,LTD.
PT. HI-LEX INDONESIA
PT. HI-LEX PARTS INDONESIA
PT. HI-LEX CIREBON

会社の概要

(2024年10月31日現在)

商号 株式会社ハイレックスコーポレーション
設立 1946年11月
資本金 56億5,705万6,150円
代表 代表取締役社長 寺浦 太郎
従業員数 966名
(従業員数には、出向者は含んでおりません。)

役員

(2024年10月31日現在)

代表取締役社長 寺 浦 太 郎
取締役 正 木 靖 子
取締役 吉 川 博 巳
取締役 UENISHI KENJI
常勤監査役 松 本 耕 一
監査役 上 田 隆 司
監査役 後 藤 研 了

取締役 正木靖子、取締役 吉川博巳及び取締役 UENISHI KENJIの3氏は社外取締役であります。
監査役 上田隆司及び監査役 後藤研了の2氏は社外監査役であります。
当社は取締役 正木靖子、取締役 吉川博巳、取締役 UENISHI KENJI、監査役 上田隆司及び監査役 後藤研了の5氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。



株式の状況

(2024年10月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 38,216,759株
(自己株式671,989株を含む)

株主数 3,841名

大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
寺浦興産株式会社	10,049	26.76
公益財団法人寺浦奨学会	1,554	4.13
日本生命保険相互会社	1,259	3.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,061	2.82
西川ゴム工業株式会社	1,034	2.75
ビーエヌワイエム アズ エージー ティ クライアンツ ノントリー ティー ジャスデック	921	2.45
本田技研工業株式会社	850	2.26
株式会社アルファ	806	2.14
リム ジャパン イベント マスター ファンド	740	1.97
株式会社三菱UFJ銀行	739	1.97

(注) 持株比率は自己株式（671,989株）を除いて計算しております。

分布状況

